

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス ノーサイド		公表日		令和8年 4月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	5	人が多い時間帯は、狭そうに感じる。部屋を分けて少しでも広くスペースを使えるよう工夫している。	・曜日によって人数が多い日もありますが、十分なスペースが確保されています。 ・安全確保に努め物品の配置等を検討致します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	6		急なお休みなどの際に、子どもたちの安全をしっかりと確保できるように協力体制をより整えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	トイレの手すりや車椅子用のリフト等、バリアフリーに配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	4		引き続き、日々の掃除を徹底し、さらに感染予防に努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	2		引き続き、個別対応できるよう環境を整える。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	7		・PDCAサイクルの取り組みが一部の職員となっている為、より多くの職員が参画できる全体会議等開催していきます。 ・ミーティング等で目標設定、振り返りを行い共有できるようにします。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	4	保護者からのご意見を周知し、改善につなげています。	面談時や、イベント（ぶろっぷ会等）保護者と交流や話をする場を設けている。その機会を定期的に行うと共に、保護者の意見や意向などを確認できる機会を増やしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	3	定期的に職員会議を開催し、意見交換を行っています。また個別に意見等を把握し、問題解決や改善に繋げています。	職員の意見を把握し共有していく。 引き続き、業務改善に努める。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	5	第三評価は受けていません。	外部評価や業務改善への取り組みがまだ不十分です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	4		引き続き、内部・外部研修に参加するよう進めていきます。研修に関して職員に参加してもらいやすい様に工夫していきます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	2		公表については再度周知いたします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	1	日々の支援状況を確認し子どもの様子、保護者、相談支援員等の情報なども含めニーズや課題を分析した上で作成しています。	定期的アセスメントを行い、支援計画に反映していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	日々関わりのある職員から情報収集し、ニーズや課題を検討したうえで作成しております。	スタッフ間で聞き取りを行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	6	個人ファイル等は全体的に閲覧できるようにしています。LINE等で情報共有されていることも多いです。	計画に沿った支援が出来ているところもあるが十分でないところもある為、共有して支援できるように取り組んでいきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	4		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	4	職員間で協議して立案しています。	チームで行っていきけるよう、職員間で共有・相談しプログラム作成できるようにします。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	3	季節に応じた内容でプログラムを組んでいます。	繰り返し行うのも大事だが、パターン化しないように努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1	毎日ミーティングを行い、支援内容や担当、子どもたちの情報を共有しています。	出来ていない時もあるが、支援開始前に出来る限りミーティングを行い、子どもの情報などを全員に共有し、チームケアが行えるよう、引き続きおこなっていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	6	また、日誌にその日にあった出来事や注意する点、気づきを記入し、職員がいつでも見れる環境にしています。	引き続き振り返りを行い、気づいた点や課題を職員間で共有して行きます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	2	日々記録を取り、出勤していない日の様子も情報が把握できるようにしています。	日々の支援に関して、記録をとることを徹底し、課題等を改善できるようにしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	定期的なモニタリング以外に、送迎時や電話で話をする際に保護者より情報をお聞きしています。	必要に応じて個別支援計画の見直しを行ってまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	4	生活能力向上・社会参加・創作活動・運動という面で、イベントに参加し、創作活動への参加や、社会参加できる場面等を増やしつづけています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	2	一人一人にあわせた声掛けなどを行っている。日常生活の中で、制作中の色を選ぶ事や、パーツを選ぶ等、選択する場面を作っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	2	管理者や担当者を決め、よく理解した者が参加をしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	各種機関と連携を取り、情報を集めるようにしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	何かあればすぐに社員へ報告するような体制を取っています。	学校との情報共有を継続し、送迎や予定の変更時についても連携を徹底していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	1	引継ぎに関しては、早めに事業所とのやり取りを行い、壁を少しでもなくせるようにしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	4	センターとは必要に応じて、連絡を取り合い話す場面を設けています。	スーパーバイズは受けていないが、常に連携を行い情報共有などを行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	8	外部のイベント等に参加し交流できています。	今後も関りが持てるように、イベントへの参加などを行っていけるようにしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	4	（自立）支援協議会等については、管理者、担当者のみが参加し、意見交換や情報収集を行っています。	今後は積極的に参加できるよう体制の設備に努めます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	1		日々の様子を連絡帳や送迎時に丁寧にお伝えし、保護者との信頼関係づくりに努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2		研修の機会を多く増えるようにしていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	3		契約時には運営規定や利用料に関する説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		通所時や、面談時、送迎時など情報交換や、意見を頂く機会が多いです。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	送迎の際、スタッフからお声掛けさせて頂いています。	面談時に支援内容を伝え同意を得たうえで計画を作成しています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	1	保護者会等は行っていないがイベントの際にご家族間で交流が出来るようサポートしています。	引き続き、イベント等交流ができる機会を作っていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	迅速に対応を心がけております。また、保護者からの声に関しては、スタッフへすぐに周知するようにしております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	0	毎月の通信の発行やホームページのブログ、インスタ等で発信しています。	更新頻度を上げて、日々の様子を知って頂く機会を増やせられるようにします。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	2		個人情報については鍵付き書庫に入れて、十分な配慮をおこなっています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	8	地域住民にお声掛けしていますが、参加されたことはありません。	今後は地域住民の方にも参加していただけるように考えていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	2	訓練等は定期的に行っています。	各種マニュアルを整理し、それに伴った訓練を行い緊急時に対応できるように致します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1	年2回避難訓練を実施しています。	避難所として発電機等を備えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	0	保護者から情報を頂き、適宜情報交換を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1	アレルギーのある子のリストを作成し、共有できおり、活動中に使用する食材等についても事前に再確認するように努めています。	アレルギーのある利用児については個人ファイルやアセスメントシートなどに記載し、情報共有しています。引き続き、全職員への周知を徹底し、最新の注意を払ってまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1		研修等は行っているが、色々なことを想定して、研修や訓練をおこなっていくようにします。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1	月に1回安全委員会という会議を開き、各施設でのヒヤリハット報告書を行っています。	職員間で共有を行い、再発防止に努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	3		虐待に対する定義などが定着していないところがあるので、スタッフ全員が理解できるよう継続して研修会をおこなっていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	2		自備行為が見られるなど安全対策として身体拘束が必要な場合については支援計画に記載し、保護者の同意を得たうえで行われています。改めて、スタッフ全員と共有を行い徹底して身体拘束について考えていきたいと思えます。	